

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
 事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
 お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所 戸倉庁舎 3階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 3月17日（日）

3月は子どもたちが進級、進学を控えている月です。子どもが希望を持って新学期を迎えられるよう、良いところを認めるなどして子どもと語り合い、励ましていきましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp

相談員がメールでお答えします。

(秘密厳守)

子どもたちの未知の可能性に思うこと

千曲市児童館職員

当児童館での冬の室内遊びは昔ながらのゴム跳び、縄跳び、かるた、カードゲーム、レゴブロック遊び等です。ゴム跳びは男女学年に関係なく、「上下どっち？」と声を掛け合い楽しく遊んでいます。縄跳びは自己との闘い、2重跳び、はやぶさ、後ろ2重跳びと高度な技に挑戦！頑張る子どもと飛ぶ回数を数える職員も一緒に頑張って息を切らせ、数が増えるたびに喜び合う。飽きずに何回も何回も挑戦する子どもの諦めない気持ちを大切に見守っていきたく思います。また、子どもは物を作ることが大好きです。レゴブロックを使い色々な物を作り出す。出来上がると、「写真を撮って」と職員の所へ自慢そうに言いに来る。出来栄えに感心し写真に収める。その時の子どもたちの表情は何ともいえない良い顔になっている。その時、私たちから要望を出すことも、もっと面白いものを作り出します。子どもたちの底知れない想像力と探求心に、いつも感心すると同時に、この子たちの無心になって集中できる時間をより多く持てる環境を作り整えたいと思います。達成感を味わって、次から次と色々なことに挑戦し、育ってほしいものです。

児童館でも子どもたちは話し好きです。家庭でも、おじいちゃんおばあちゃんに昔の遊びや話を聞いてみるよう、促してみてもいかがでしょうか。きっと良いお話が聞けると思います。

おうちの方とたくさん話が出来る環境の中で、心のこもった会話ができれば良いなあと思います。お子さんの目を見て、楽しくお話してください。また、おじいちゃんおばあちゃんからお子さんに話しかけていただくよう、お願いしてみても良いかもしれません。子どもの頃の遊びや話を聞いてみると、新しい世界が見えてくるかもしれません。子どもの未知の可能性は、日々の日常の中で、見たり聞いたり興味を持つたりしながら、夢中になる経験を継続していくことでより広がっていくように思います。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 「おはよう」と挨拶かわし増す笑顔 —

～育成センター会議より～

2月28日に育成センター会議を開催し、以下の事項等について協議・連絡をおこないました。

1. 平成30年度育成センター事業報告について
2. 平成30年度補導活動の課題等について：アンケート結果の集約から
3. 1・2月の補導活動を振り返って～
4. 3・4月の補導日程について
3月：通常補導 午後3時～5時（4日～8日）、PTAとの合同補導 午後3時～5時（18日～28日）
4月：補導委員学校訪問 午後3時～5時30分（中旬）、通常補導 午後4時～6時（下旬）
5. 平成31年度 千曲市少年補導委員会総会/定例補導委員会
開催予定日 平成31年4月10日（水）午後3時から 会場 戸倉創造館



補導日誌から



【せつぶんそう】

温かい人の輪

1月16日（水） 3:00pm～5:00

小船山公園から内川公園へ向かう途中、一人の女性が車を止め救急連絡をしているところに通りかかりました。大西線の歩道を歩いているお婆さんが、突然倒れるのを目撃したのだそうです。私たちも車を止め現場に行きました。女性は看護師でした。お婆さんの意識確認、救急との連絡対応を間髪を入れずに行っており、実に頼もしく思いました。少ししてから、もう一人男性の看護師が来てくれました。こんなに寒い夕方、沢山の人が車を止め他人のために来てくれるのかと感心しました。

思い出作りを

1月16日（水） 3:00pm～5:00

屋代駅の市民ギャラリーでは、防犯協会主催の防犯ポスター入賞作品が展示されていました。小・中学生の防犯に対しての意識の高さが分かりました。千曲駅へ回ってみると、ピンクリボンの付けられた放置自転車は、全部撤去されていました。内川公園では、小学校3年の男子2人、リモコンを操縦して遊んでいました。「こんにちは、寒くないの。これはお父さんに買ってもらったの」と聞くと、「こんにちは、寒くないです。これは、サンタさんからのプレゼントです」との返事。この夢みる素直な気持ち、いつまでも持ち続けてほしいなと思いました。バスケットのゴールネット、修理されていました。更埴中央公園の芝生の遊具では、6年生の女の子3人が仲よく遊んでいました。「3月には卒業だね。楽しい思い出たくさん作ってネ。風邪ひかないようにしてネ」と言って別れました。

きれいになっています

1月17日（木） 3:00pm～5:00

屋代駅、科野の里ふれあい公園、中村池公園、杏の里スケッチパーク、倉科ふれあい公園、東小学校、土口沢山川親水公園 屋代高校前駅、と巡回しました。曇り空で時々日も差していましたが、風も冷たく寒い日で、学校帰りの子どもたちもまだちらほらで、公園にも駅にもほとんど人を見かけませんでした。屋代駅のトイレ改修工事も済み、見た目も良くきれいになっていました。また、放置されていた自転車も、片づけられていました。屋代駅、屋代高校前駅にて話を聞きましたが、特に問題はないとの事でした。

感心な子どもたち

1月18日(金) 3:00pm~5:00

天気は快晴。はだ寒い風が吹いており、日陰では、路面が凍結していました。国道の横断歩道を2~3人の小学生がグループで手を上げて渡っていました。帽子、手袋、長ぐつ、大きなカバン、手さげ袋など、小さな体と同じくらいの荷物を持っていました。手を上げて渡っていたので、目立つので安全だなあと思いました。屋代中学校へ行ってみると、校外の清掃をおこなっていました。それぞれの分担場所を防寒衣なしで掃除していました。風邪をひかないように祈りました。

サクラさく春に

2月 1日(金) 3:00pm~5:00

埴生地区の巡回補導の日。朝、育成センター事務局から連絡があり、ライポくん安心メールで配信された粟佐と鋳物師屋2か所の不審者情報と、その周辺の特別巡回の依頼がありました。まず屋代駅に行ってみると、改札口に「2/1上田西高一般入試」「合格祈願」の張り紙がありました。電車が到着すると、受験生らしい若者が大勢降りてきました。その中の5~6人の女の子が「上田西高の受験生」とニコニコしながら答えてくれました。これを見た補導委員、「皆さん、サクラサクでしょう」との思いでした。その後駅前交番で情報交換し、巡回活動を開始しました。

大人の目…不審者対策

2月 5日(火) 3:00pm~5:00

三本木公園では、小・中学生10名ほどが遊んでいました。中学生は声かけに明るく応えてくれて、元気そうでした。お孫さんを遊ばせていた方から、補導委員の活動に対しお礼を言われました。女沢公園(市役所上山田庁舎東にある公園)付近で、前日の4時半頃不審者が現れたという連絡が事務局からあったので、警戒を兼ねて巡視しました。特に異常はありませんでしたが、脇の河川で工事をしていた業者の方に不審者情報を説明し、協力を依頼してきました。

春を感じます

2月 5日(火) 3:00pm~5:00

屋代駅はトイレが改修され、清潔感が感じられました。昨日今日と暖かな日が続き、地面の雪もとけ地肌が良く見えたせいか、今回はタバコの吸い殻が目につきました。21個拾い、駅前の灰皿に入れて処理しました。今回は、粟佐方面、西友付近の道路を巡視しましたが、特に異状は見つかりませんでした。屋代高校前駅に行くと、近辺は雪がとけ地肌が出ていましたが、ゴミひとつ見かけず、掃除がなされきれいでした。科野の里ふれあい公園には、親子連れが3組。小学2年生が18名ほどドッジボールやサッカーをしていました。中学生も2名おり、楽しそうにゲームをしていました。

編集室の窓

おかげさま~恩送り~

「おかげさま人生」…素敵なお育ちをされた方なのだろう…そんな心に沁みるお話を旧知のKさんから頂きました。Kさんがある葬儀に参列した時のお話です。教師をしているAさん、そのAさんのお婆さまの葬儀でした。Aさんはお婆さまについてこのように話したそうです。『小さいころはお婆ちゃんに面倒を見てもらっていました。そんなに良いところはないだろうに、いつも良いところを見つけては、「Aちゃんはいつも良い子だねえ」と褒めてくれました。いつも私の良いところを見つけては、声を掛けて励ましてくれました。おかげで、私も人の良いところをたくさん見つけられる人になりました。そして、今は子どもたちの良いところに目を向けて大事に育てていく教師を目指し、「教師」として歩み出しています。こうして今教師としてあるのは、あの時面倒を見てくれたお婆ちゃんのおかげです…。』

温かいまなざしで、子どもたちを包み込んでいくAさん、お婆さまからいただいた御恩は、そのまま、次の世代に送られていきます。「おかげで、人の良いところをたくさん見つけられる人になりました」のような一言、「おかげさまで」の一言が頂けるように生きられれば幸せです。

子どもたちが、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。小学校卒業を控え、今の子どもたちがどのようなことを考え、より良い社会を目指し、生きていこうとしているのかを紹介します。

未来がより良くあるために 【中村 知愛】

未来がより良くあるためには、動物の殺処分がなくなることが大切だと思います。そのためには、みんなが「命」について考えることが大切です。

なぜ私がそう思ったかという、家にいる犬が殺処分されそうになったからです。犬を買いにペットショップに行き、「この犬ください。」と言ったところ、お店の方に「この犬は物が良くのみこめないの、他の犬と交換しますね。」と言われました。それでは、その交換された犬はどうなるのでしょうか。その犬は保健所に連れて行かれ、飼い主が見つからなければCO2というガスを吸わされ、人間に殺されてしまいます。考えてみてください。「人の命はお金では買えません。」とよく言われますが、それは動物も同じです。動物も命があるのです。では、どのくらいの動物が殺処分されているのでしょうか。平成25年の殺処分数は10万匹、26年は同じく10万匹、27年は5万匹です。年がたつにつれて殺処分数は減っていますが、まだ5万匹もの命が殺処分されています。だから、動物の命を粗末にしてはいけないということが考えられます。

しかし、飼い主の方が体調をくずして入院したり施設に入ったりすると世話ができる人がいないし、災害にあって一緒に暮らせないと世話ができる人がいなくなるから、殺処分をせざるを得ないと思う人もいるかもしれません。しかし、そのような状況になる前に、どのような状況でも動物が年老いても最期まで飼うことができるかをよく考えることが大切なのです。災害で被災し、ペットが飼えなくなることがあっても、ペットは保護されてセラピードッグなどができると思います。

私は未来が良くなるために、動物の殺処分がなくなることが大切だと考えます。そのためには、これからの未来においてみんなが命のことについて考え、動物を大切に思うことが求められると思います。

選挙を通してより良い未来へ 【山崎 奈保】

未来がより良くあるためには、もっと多くの人が投票することが大切です。そのためには、投票できるのにしない人の意識を変え、選挙についてよく考えてもらうことが必要だと考えます。

私はテレビや新聞で選挙の投票率が低いことを知りました。第48回平成29年10月22日の衆議院議員選挙では、70歳以上60,94%、60歳代72,04%、50歳代63,32%、40歳代53,52%、30歳代44,75%、20歳代33,85%、10歳代40,49%という結果になっていました。自分の1票で未来が変わるかも知れないのに、なぜ投票率が低いのか気になったのです。1986年の資料ですが、選挙で棄権した理由という資料を図書館で見つけました。『用があったから49,5%、選挙にあまり関心がなかったから21%、病気だったから15,7%、適当な候補者がいなかったから8,6%、政策・候補者などについて事情が良く分からなかったから8%、選挙で政治は良くなるから7,7%、自分ひとりくらい影響はないから5,6%』と書かれていました。今もこのような理由で投票しない人は少なからずいると思います。選挙に関心のない人や自分ひとりくらい影響ないと考える人などがいるから、投票する人が少ないのだと考えることができます。

しかし、「投票できる年齢が18歳以上になって選挙権を持っている人数が多くなったから、投票率は下がらないのではないか。」と考える人もいるでしょう。それに対して、私は、最初に示したように、10歳代の投票率が40,49%なので、投票する人が増えても、投票しない人も増えてしまうことも考えられると思うのです。

選挙の時、もっと多くの人が投票するようになるためには、投票できるのにしない人の意識を変え、選挙について良く考えてもらい、自分の考えを持ってもらうことがより良い未来につながると考えます。私は、お母さんやお父さんなど家の人や選挙に行っていない人に「選挙に行こう！」と言え人になりたいです。